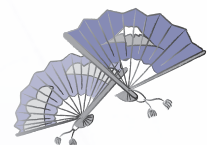


新年のごあいさつ



南越前町長

川野 順万

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様方には、輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、私が町政を担わせていただき、早2年が経過いたしました。その間、各事業の実施に際し、町民の皆様方の温かいご理解と絶大なるご協力を賜りましたことに對しまして、衷心より厚く御礼を申し上げます。

昨年、となりの国、韓国では、北朝鮮の砲撃により、南北の緊張は予断を許さない状況にあり、再発回避に向けた国際包囲網の構築が求められております。一方、国内では、中国漁船衝突のビデオ流

出問題やロシア大統領の北方領土訪問など、外交不信が政権を痛撃しております。

このような状況の中で、国の政策についても不透明な部分が多く、我々地方自治体の財政や地域住民の暮らしがどうなるのか、不安の中にありますが、しっかりと県や各市町と連携をとりながら、これからの地方自治の抱える課題の解決に取り組み、活力と魅力のあるまちづくりに全力を挙げて取り組んで参りたいと考えております。

そんな中で、昨年、南越前町では、6月に県道帆山王子保停車場線が開通、また7月には国道305号ホノケ山トンネルの河内側の工事が始まり、先般の12月県議会でも、

4億6千万円の前倒し予算が可決され、合併からの念願が少しずつ見えてきたところであります。さて、ここで、私が進めて参りました我が町の平成22年度の5つのまちづくりの具体的な事業の取り組みと進捗状況について、ご報告をさせていただきます。

まず、1つ目の「住民に優しいまちづくり」であります。個別検診の導入、南条地区の幼児教育・保育の在り方検討委員会の立上げ、町公共施設のバリアフリー化の実施等であります。

次に、2つ目の「安全安心して暮らせるまちづくり」であります。が、雇用促進住宅の撤去に伴う来年度の町営住宅建設の取り組み、町社会福祉協議会の職員増による運営体制の強化、町無雪化計画の基本計画策定、町橋梁の長寿命命化の調査実施等であります。

次に、3つ目の「活き活きと働けるまちづくり」であります。国の緊急雇用事業等を活かした26名の雇用創出、町職員提案の職場活性化事業の実施、町福祉関係登録雇用制度の運営実施、山海里集落支援事業による25集落の支援、学校給食畑に

よる食育活動と南条農産物直売所「四季菜」の会員拡大、観光ホームページの開設と観光PRビデオの作成、「ホテルの郷づくり」の講習会及び特定調査の実施、河野梅の木オーナー制度の創設等であります。

最後に、5つ目の「住民主体のまちづくり」であります。9集落集会所の増築改修事業の支援、CATVインターネット充実のための調査設計の実施等であります。

以上のように、私の公約であります、5つのまちづくりに取り組んで参っております。

今後とも、町民の皆様方のご理解、ご協力をいただきながら、多様化する行政需要に積極的に取り組み、町民福祉の更なる向上に努めていきたいと考えております。

この新しき年が、町民の皆様方にとりまして、幸多き年となります事を心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

年頭にあたり



南越前町議会議長

向瀬 英渡



新年明けましておめでとうございます。
輝かしい平成23年の新春を、皆様と共に迎えられますことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年の5月に議長に就任してから早8カ月が過ぎましたが、町民の皆様には、日頃から議会に對しまして格別のご理解、ご指導をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

昨年来場者数となりました。3月末には、ETC専用南条スマートインターチェンジが、これまでの福井方面の出入りに加え、敦賀方面への出入りも可能になり、利用しやすくなりま

した。また、南条農産物直売所「四季菜」が増築されて、今庄地区、河野地区の農産物・海産物が新たに店頭に並びました。5月から7月にかけて、町内では様々なイベントが行われ、今庄そばまつり、はすまつり、河野夏まつり等の会場には、町内外から大勢の観光客が訪れ、にぎわいをみせてくれました。

昨年夏の夏は、全国的に異常気象で連日猛暑が続く、観測史上初めての記録も出ておりましたが、そんな中で、7月の集中豪雨により、主に河野地区において災害が発生し、地元の方々に不安や不便をおかけすることのないよう迅速な対応に努力いたしました。

国政では、鳩山内閣から菅内閣に

交替し、7月には参議院議員通常選挙が実施され、衆議院と参議院で与野党の議席数が逆転する「ねじれ国会」が生じることとなり、また、地方自治体では鹿児島県阿久根市における議会を召集せずに市長専決処分での行政運営、名古屋市の議会の解散を求めるリコール運動等、様々な動きがあり、報道関係者を騒がせてきました。

南越前町議会では、5月から議員定数を18人から14人に削減して新たな議会活動をスタートさせました。あらためて協議いたしましたことは、町民の皆様が開かれた議会活動に取り組むことであります。

最初に、議場の議員側に議員用の発言台を設置し、一般質問では町長と対面して質疑応答する形式としました。次に、近年、議会への様々な請願、陳情、要望等が増えている中、南越前町議会として提案者の思いを真摯に受け止めるため、議長預かりでなく委員会付託を基本に取り組み、昨年1年間の受付件数は請願1件、陳情書等17件で、その内、5件を採択し、意見書を関係機関に提出しました。

次に、議会運営委員会では、今ま

で定例会の日程は開催1週間前に決めておりましたが、日程を告知し、一般質問の傍聴の呼びかけ等を行うために、1カ月前に議会運営委員会を開催して議会日程を決め、ケーブルテレビで放送いたしました。また、これまでの町長提案説明と一般質問のみをケーブルテレビで放送してきましたが、審議の経過をわかりやすくするため、委員長報告、採決等も9月定例会から放送いたします。

地方議会の取り組みが、年々重要になってきている中で、他にも町民の皆様が理解していただけるような議会活動を展開するため、検討を重ねてまいりました。私たち議員も町民の皆様方の声をまちづくりに活かせるように議会活動に邁進していく覚悟でございます。

最後になりましたが、町民の皆様には、今年もこれまで以上のご理解とご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。併せて皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。